

ピエトロ・ジェルミ

Pietro Germi

生年月日 1914/09/14

出身地 イタリア／ジェノヴァ

没年 1974/12/05

【バイオグラフィ】

■少年時代は新聞売りなど職を転々とし商船学校に入るが、やがて俳優を志してローマに向かう。映画実験センターの演劇科で三年間学んだ後、監督科に転籍。助監督やエキストラとして下積み生活を送り、45年の「Il Testimone」で監督デビューを果たした。主演も兼ねた監督作である「鉄道員」が評価され、61年の「イタリア式離婚狂想曲」でアカデミー脚本賞を受賞。66年の「蜜がいっぱい」でカンヌ映画祭グランプリを受賞して、国際的に名声を得た。役者としても活躍し、「刑事」や「わらの男」など自らの監督作のほか、「くち紅」、「ピアンカ」などの映画に出演している。74年、肝炎のために死亡。

【フィルモグラフィ】

アルフレード	アルフレード (1972)	監督, 脚本
ヨーロッパ式クライマックス	(1967)	監督, 脚本
蜜がいっぱい	(1965)	監督, 脚本, 原案, 製作
誘惑されて棄てられて	(1963)	監督, 脚本
イタリア式離婚狂想曲	(1961)	監督, 脚本
ピアンカ	(1961)	出演
くち紅	(1960)	出演
五人の札つき娘	(1960)	出演
刑事	(1959)	監督, 脚本, 出演
わらの男	(1957)	監督, 脚本, 出演
鉄道員	(1956)	監督, 脚本, 出演 : アンドレア・マルコッチ
嫉妬	(1953)	監督, 脚本
街は自衛する	(1951)	監督
越境者	(1950)	監督, 原案
無法者の掟	(1948)	監督
失なわれた青春	(1947)	監督, 原案, 脚本